

24年度事業計画などを説明

日測協沖縄支部が報告会

(公社)日本測量協

会沖縄支部(松川竹丸
支部長)は7月18日、

那覇市の沖縄県教職員
組合共済会館八汐荘で
業務報告会を開き、24
年度の事業計画を報告
した。写真。

松川支部長は「技術
力向上のための講習会
や測量機械の検定など
の事業を通して、業界
の更なる発展と活性化
につなげていく」と意

欲を示した。

24年度事業では、正
会員と特別会員の加入
促進や、測量継続教育
センターと関係団体と
連携した講習会の開
催、測量技術者の技術
力向上に向けた無料の
アドバンスセミナーの
実施、測量技術セン
ターの測量機器検定事
業の促進などに取り組
み、支部組織と事業の
充実・強化を図る。報

告会后、(公社)日本
測量協会の村上真幸副
会長が「測量近代化研
究」TSとGNSSの
実力評価」をテーマに
講演。公共測量作業規
程の準則は、1977

年の制定から、現在に
至るまで、測量・地理
空間情報に関する新技
術を取り入れ、全国の
測量計画期間において
多様な測量技術に対応
してきたと説明。一
方、従前の作業方法に
新たな技術が接ぎ木の
ように付け加えられて
いるため、規定が複雑
化し、準則に定められ
た品質管理の基準や方
法がほとんど改定され
ていないと指摘。村上
副会長は近代化の第1
段階としてTSやGN

SSを用いたデータに
基づき、現行の4階層
の公共基準点体系を2
階層に見直しすること
を提案した。

その後開かれた懇親

会では、村上副会長と
国土地理院沖縄支所の
阿久津修支所長も参加
し、会員らと親睦を深
めた。

